

# 平成30年度からの 学校給食の変更点

- 1 完全米飯給食について（パン・麺の提供について）
- 2 ドリンクタイムの在り方について

# 1 完全米飯給食について（パン・麺の提供について）

## 目的

- (1) 日本の主食・米について、米粉を利用した食品を学校給食で提供することにより、粒と粉の違いについて学べるようにし、米飯給食への理解を更に深める。
- (2) 「わたしたちの住むまち・三条を知る」ための教材として、三条産の小麦を使用したパンとカレーラーメンを提供し、ふるさと三条への愛着と誇りを深める。

上記(1)、(2)により、教科等の学習内容と学校給食を連携させることで、学校給食のより一層の活用を図る。



## 取組内容



# テーマ① 米の活用を知る

米粉パン・米粉麺の日

米の活用を知る！

【関連する授業等】

社会科（日本の農業）、家庭科（献立づくり）、  
理科（消化吸収）



日本の主要農産物である米が、  
ご飯としてだけでなく、様々な  
形で活用され、多くの可能性を  
持っていることを、特に活用の  
幅が広い米粉のパンや麺を通じ  
て学ぶ機会とする。



ご飯（粒）と米粉（粉）の  
違いについても学ぶ

- ・米の種類の違い
- ・材料の違い
- ・消化吸収（体の中での違い）
- ・栄養面の違い など





# テーマ② 三条を知る

## 三条産小麦のパンの日

三条の地域にこだわった食品を知る！

【関連する授業等】

まち探検、企業訪問、社会科、家庭科



生産者は、地元のパン屋から「三条の食材でパンを作りたい」という要望を受け、小麦の栽培に挑戦したとのこと。

地元愛から生まれたコラボであることを子どもたちに伝える良い教材となる。

## 三条カレーラーメンの日

鍛冶職人たちの活力源として出前が多かったカレーラーメンを知る！

【関連する授業等】

まち探検、企業訪問、地域の伝統



レシピを飲食店組合と連携して「〇〇店監修」などとし、いろいろな店の味が楽しめるようにすることで、地域とのつながりも生まれる。

### 提供時期

### 年5回実施

1 学期		2 学期		3 学期
5月	7月	10月	12月	2月
米粉パン	米粉麺	米粉パン	カレーラーメン (三条小麦麺)	三条小麦パン

## 2 ドリンクタイムの在り方について

学校給食は「食べることを学ぶ時間」として捉えているため、家庭等では余り見られない「ご飯（日本型の食事）」と「牛乳」の組合せを見直し、平成26年度に牛乳を試行的に廃止したが、献立を工夫しても必要な栄養摂取基準を満たせなかったため、平成27年度の2学期から、牛乳を給食時間と切り離して飲むドリンクタイムを実施してきた。

しかし、牛乳の残量が増加傾向にあり、必要な栄養をしっかりと摂取できていないことが課題となっており、その要因の一つとして、多くの学校が食後すぐに飲んでいることにより、満腹で牛乳を飲めないことが考えられる。

そのため、給食時間とドリンクタイムの間隔をあけることにより、牛乳の残量を減らすことができる可能性がある。

そこで、必要な栄養をしっかりと摂取しながら、学校給食を望ましい食習慣形成のためのより良い教材として活用するため、ドリンクタイムの時間や回数について見直すもの。

【学校給食残量調査より】

	牛乳残食率		
	H27	H28	H29
小学校	2.3%	3.0%	5.6%
中学校	4.1%	3.5%	9.8%

# ドリンクタイムの回数の変更

	牛乳を提供しない日	
	現 行	改善案
小学生	月 4 回 毎週 (金)	月 6 回 毎週 (金) + 2 回
中学生	月 4 回 毎週 (金)	月 4 回 毎週 (金) 現行どおり

これまで、小中ともに同じ回数でドリンクタイムを実施してきたが、小学生と中学生では、満たすべき栄養摂取基準が大きく違うため、回数を変更する。

小学生の牛乳提供回数を減らすことにより、栄養量（特にカルシウム）が摂取基準を下回らないように献立を工夫する。

- ①ヨーグルトを月 1 回程度増やす。  
牛乳に比べ量が少なく、デザートとして食べやすい。
- ②骨ごと食べられる魚料理を取り入れる。  
季節の魚をできるだけまるごと食べられる献立で提供する。



# ドリンクタイムの時間帯の変更

## ドリンクタイムの現状

直前	直後	休み時間・放課後等
1校 (西鱒田小)	27校	1校 (長沢小)

## 平成30年度の目標

直前	直後	休み時間・放課後等
0校	14校	14校

1学年1学級の学校（14校）において、ドリンクタイムを  
休み時間・放課後等に変更し、検証する。

小学校13校：上林小、旭小、西鱒田小、保内小、大島小、須頃小、  
栄北小、大面小、  
長沢小、笹岡小、大浦小、飯田小、森町小

中学校 1校：大島中

### 【検証すること】

- ・給食と牛乳の残量
- ・子どもたちの様子の変化（教職員へのアンケート調査等）

## ドリンクタイム時間変更への課題

- ・時間の確保
- ・残渣の処理



### 長沢小学校のドリンクタイムの流れを参考にする！

(長沢小学校の例)

給食	12:15~12:55	
昼休み	12:55~13:35	
清掃	13:40~13:55	← (5分)
<b>ドリンクタイム</b>	<b>14:00~14:05</b>	← (5分)
5限	14:05~14:50	

- ①担当の教職員が清掃時間中に、ランチルームの冷蔵庫から牛乳を出してプレイルームへ運び、クラス別に机に並べて置く。(ワゴンに全クラス分を載せて運ぶ。)
- ②清掃終了後、クラスの当番の児童がプレイルームまで取りに行き、各教室へ運ぶ。(白衣は着用しない。)
- ③清掃後、教室に戻り、手洗いの終わった児童から牛乳を飲む。(全員が揃ってから飲むクラスもある。)
- ④飲み終わった牛乳パックは、所定のごみ袋に入れ、教室の隅に置いておく。
- ⑤放課後、当番の児童がランチルームの所定の場所までごみ袋を持って行く。
- ⑥翌日の給食配送時に、業者がごみ袋を回収する。



## 【実施に向けたポイント】

- ・子どもたちが配膳から全てを行うと時間が掛かるため、長沢小学校のように教職員等が配膳室から牛乳を出すようにする。
- ・毎日同じ時間ではなく、学校の行事等によって臨機応変な実施とする。
- ・歯みがきは、歯科医師に確認したところ、必要ないとのこと。必要に応じ、うがい等で済ませてもよい。



## ～ドリンクタイムの時間帯によるメリット～



### 午前中の休み時間

朝食がおろそかな家庭も多い中、お腹を満たし、午前中の授業に集中できる。

### 午後の授業開始直前

休み時間と授業との切替えができる。

(長沢小学校の例)

### 終学活・放課後

特に中学生は、その後の部活動に向けて良い捕食となる。運動前にエネルギーを補給することで、集中力が高まる。  
また、帰宅後の間食が減る。